

R C 木工事 施工計画書

1 . 一般事項

1) 提出書類等

あらかじめ設計図に基づき施工図を作成し承認を得た上で施工する。

施工図

木材調書

合板出荷証明書

2) 変更・疑義

本施工計画の中で変更を必要とすると思われる問題が生じた場合は、事前に本施工計画は工事施工前に

疑義が発生した場合、または記載外で重要事項、承認を得た後製作および施工する。また、関係者全員に周知徹底を計る。

2 . 材 料

1) 用材の適用・樹種等

木材は“製材の日本農林規格のあるものを使用する。

ラワン材は特記のない限り、白ラワン材の品等は見えがかり面について、白ラワン材は、いずれも腐れおよび腐朽防止剤の断面指定寸法(施工図に示す)に準じて用材の見えがかりは、かならずしも中仕上げおよび仕上げ削りの工程で、フローリングボード張、複合材の下地材面は荒削りとする。

表示品または JAS 検査格付機関の証明書

板材および造作材は心去り材とし、化粧

および板材共、仕上がり寸法とする。

一度は荒削りまたはプレーナ 1 回通し、見えがかり部は、砥の粉拭きとする。ただし、等根太上面および合板、石膏ボード等

2) 木材の含水率(工場現場搬入時)

A 種(構造材、下地材):

A 種(造作材):

含水率の測定は、高周波

3) 代用樹種

構造材 : 米松 1 等材、

壁、下地材 : 米桐 1 等材

<http://gamba-know-how.com>

4) 使用木材の品種

a. 当現場における木材の使用箇所別の品種

	使用箇所	部 材	
構造材	敷き土台・大引き	米楯 1等	
	根太	米松 1等	
	ポー	の根太	
	およ		
	頭継	米楯 1等	
見え	米楯 1等		
端柄材	間	米楯 1等	
	壁肌	米楯 1等	
	野縁	米楯 1等	
造作材	和室	杉 集成材	
	大集	サクラ 集成材	
	音染	タモ 集成材	
	浴室	米ヒバ 上小節	
	沓摺	タモ 上小節	
	流し	米ツガ 1等	
	額	米楯 上小節	
	額	スプルス	
	額	杉 上小節	
	敷居	桧 集成材	
	框	タモ 集成材	
	上り	ケヤキ	
	鴨居	杉 集成材	
	中鴨	杉 集成材	
	付鴨	杉 集成材	
	巾木		タモ 集成材
			マコーレ 集成材
			カバ 集成材
			米楯 上小節
		タタ	杉 集成材
	カー	スプルス	
	スク	アガチス	
押入・物置	敷居、鴨居、框、根太掛、根太	米ツガ 上小節	

集成材は表面単板、芯材共 JAS 1等品

または

a . 当現場における木材の使用箇所別の品種

例 2

a . 使用材料

	使用箇所	種別	備考
構造材	間柱	http://gemba-know-how.com	65 × 40
	押入野縁		40 × 33
造作材	和室柱		118 × 118
	和室鴨居		115 × 40
	和室敷居		118 × 40
	廻縁・付鴨居・長拵		
	押入棚材		
	額縁		t = 25
	ブラインドBOX		t = 25
	木枠・見切・巾木		チス
	上り框		
	UB額縁		
新建材	押入内部		t = 5.5/9
	板タタミ		t = 15
	置き床		
	掲示板		t = 5.5
	床捨て貼り		t = 12
	炉縁・炉壇		
	丸棒手摺		40
	体育館壁		裏貼 有孔 6 × @25
	体育館壁	t = 50 (24kg)	
	物入内部	t = 5 . 5	
	多目的室他壁	パネル t = 6	
	幼児室・音楽室		
	羽目板		
	音楽室	< @25白	

b . 化粧合板その他

種 類	規格など	
普通合板	普通合板の JAS による JAS マーク表示品とする。 樹種 水か	下記による。 他 設計図書による。
石膏ボード	JIS	難燃 2 級 (準不燃) とする。
ポリエテル化粧合板	特殊 タイ	特殊加工化粧合板 1 類で、FW マーク表示品とする。
天然木化粧合板	台板	よる JAS マーク表示品とし、樹 他設計図書による。
	突板	設計図書による。
縁甲板	天然 3,64	檜 (厚 15 mm、巾 106 mm、長さ □とする。

c . 金物および接着剤メ - カー

釘 類	マックス株式会社		下地材
	マックス株式会社	イル - 50 mm	コンクリート ~ 木材
	ヤマキ産業株式会社	- 51mm	木材 ~ 木材
	マックス株式会社	イル - 35mm	下地 ~ 合板
接着剤	コニシ株式会社 酢酸ビニル樹脂系、 溶剤形接着剤		コンクリート ~ 木材
	積水化学工業株式会 酢酸ビニル樹脂 エマルジョン接着剤	804	木材 ~ 木材

<http://gemba-know-how.com>

3. 施工

1) 施工に際しては本木工事に精通した人員を確保すると共に、関係先と調整打合せ、工程・品質等を管理をするため作業責任者を選定し、これをもって工事が遅延なく完了するように努める

2) 取付け用材料と工法

木材の取付けおよび組立ては、

- a. 釘類鉄丸釘 JIS A 5508
木ネジ JIS B 1135

上記による JIS マーク表示は、
造作材の釘打ちは、木レンガ
合は、450 mm ~ 600 mm 間隔
板類の場合は両耳に打ち、釘
の等間隔打ちを標準とする。
また、造作材の化粧面釘打

b. 諸金物

ボルト、平カスガイ等は、
諸金物は、コンクリートに
回塗り、精製タール焼付け

c. 接着剤

接着剤は、レットルを完全
造作材の接着間隔は 450 mm
当現場使用接着剤（木工用

d. 防腐剤

防腐処理

常時湿気を受けやすい部分
ト油または同等以上の効力
いる。同等以上の表面処理
ある。

木材防腐剤は、JIS K 24
に適合するものとする。

当現場に於いては **スパロン** を使用する。

適用箇所（床組み材）コンクリートその他これに対する泡水性のものに接する部分。（接着剤塗布部は除く）

<http://gemba-know-how.com>

木レンガ等を使用する。

付ける板厚の 2.5 倍を標準とする。
るごとに、また下地材が添付けとなる場

頁の幅物の場合は、釘間隔は 200 mm 以内

用箇所に適したものとする。

木材に彫込むものとする。

見えがくれとなるものは、防錆塗料 1
。

現場へ搬入する。

ンクリートボンド：コニシ）

置が必要になる。そのためにクレオソー
剤を 2 回塗り付けることが定められて
日本木材保存協会認定している製品が

タールピッチ加工タール、舗製タール）

e . 木れんが

木れんがは、木れんが用接着剤で張り付ける。

木れんがの材料は、ひのきの代用樹種（米ひば）を用いなければならない。

3) 施工要領

a . 施工前の確認事項

表面仕上

- ・見え掛かり面は、原則として自動機械かな掛け仕上

継手および仕口

- ・継手は、乱に配置する。
- ・土台面で、継伸ばしの都合
- ・合板、ボード類の壁付き材

とし、表面の仕上げの程度は B 種（中

用する場合の限度は、1m 程度とする。
りける。

b . 木工事施工順序

室内清掃片付け

基準墨および木工事の墨出し

サニタリーユニット取付工事

給排水、ガス、電気配管お

サッシ額縁取付

間仕切軸組み（間柱、土台）

床下地組（土台、際根太）

開口部枠、間仕切造作組立

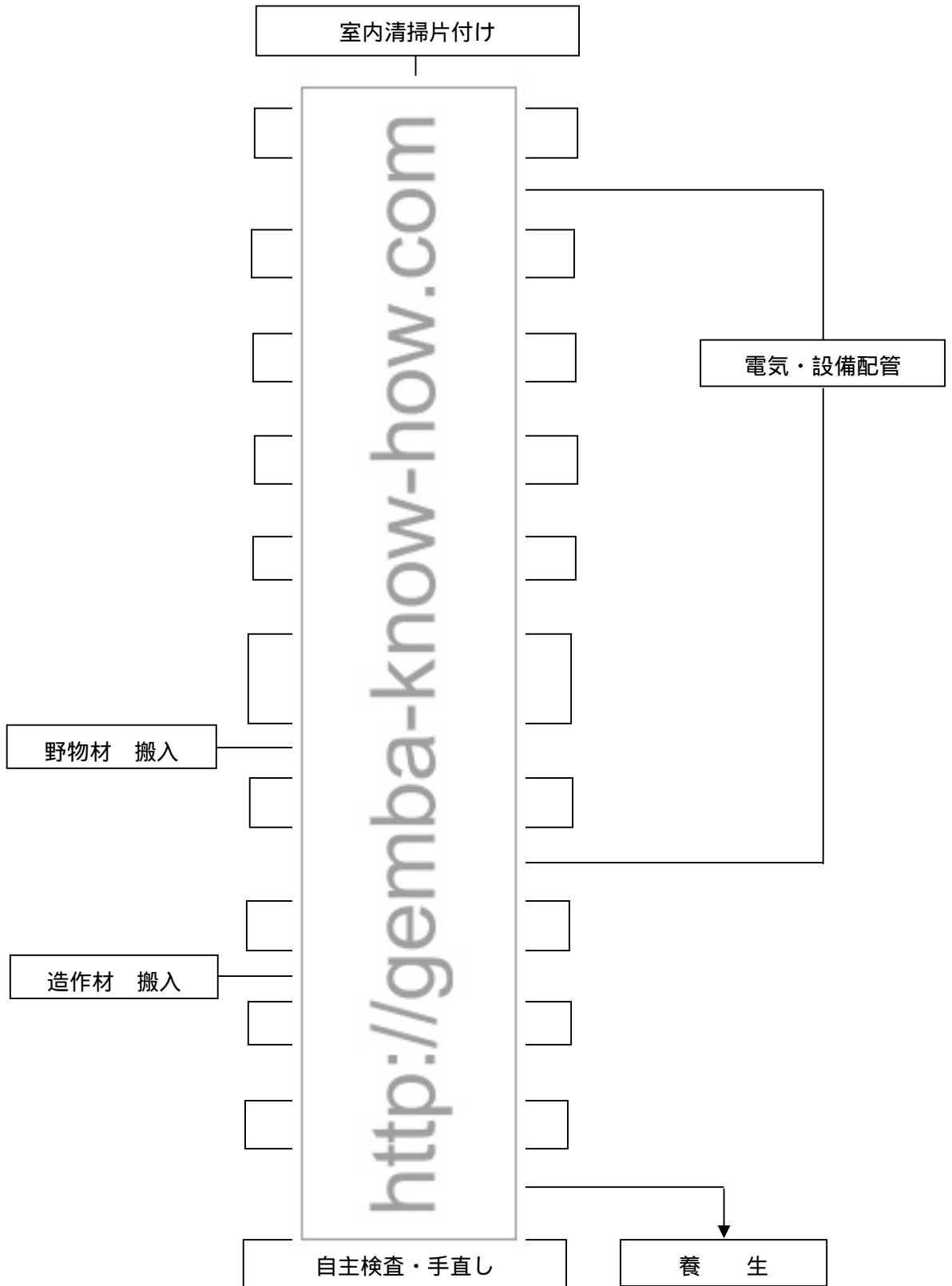
天井野縁組

付鴨居、押入造作

ボード張り、合板張り

<http://gemba-know-how.com>

c . 木工事フローチャート



4) 材料搬入

搬入部材の取込みは大工が行い、材料指定保管場所に置く。

仕事場は整理、整頓し、きちんと清掃する事。

サッシ、ガラス等他の部材を傷つけないように搬入する。

置き場所は後施工に支障を及ぼさず、各室に配置する。

5) 各施工要領および注意事項

- a. 基準墨より木工事納まり墨は
間仕切芯は基準墨より測り出し
水平墨は床スラブと掃出し
納まりが悪く変更しなければ

決定する。
作員の承諾を得る。

b. サッシ額縁取付

サッシ額縁はアングル決り
つける。組み立てる。

アルミサッシ額縁アングル
し釘止めとする。

額縁ビスは曲り、ビス頭の

コマ付けは@450 前後で、F

タテと上下の仕口は、突付

長物の継手は、ほぞ掘り加

ステンレスビスの曲り、浮

併用でスキ間のない様に注意して止め

、鴨居、堅枠は柄入れとし接着剤併用隠

む。

リートボンドにて固定する。

ナできれいに払う。

施工図とか、略
図などで示す。
それが無ければ
消す。

c. カーテンBOX取付

カーテンBOXの組立は接着

取付けは水平・垂直に注意し

天井埋込型なので前板の前

40×36@600)を立てて、

てる。

ける。

×33)を打ちその上から吊木(米梅1等

ける。(別紙-3)

d. 間仕切軸組

頭つなぎ、脚固め

・継手は目違い継ぎ、また
使用する。

・コンクリート面に接するも
によって締め付ける。

付け、釘は鉄釘 50 mm または 65 mmを

2m以内の間隔に径 9 mmの埋込みボルト

見え隠れ柱

・上端は短柄差し、下部は脚固めへ柱見込みの3分の1を欠き込み、釘打ちとする。

釘は鉄釘 50 mmまたは 65 mmを使用する。

間柱

・450 mm間隔とし、上端、下端とも突き付け斜め釘打ちとする。

・釘は鉄釘 50 mmまたは 65 mmを使用する。

<http://gemba-know-how.com>

壁胴縁

- ・横胴縁は 450 mm以内とし、縦胴縁は 450 mm間隔とする。(化粧合板貼り部のみ 303 mm以内とする)
- ・柱および間柱に欠き込みまたは添え付け、釘打ちとし受材心で突付け継ぎとする。
釘は鉄釘 50 mmまたは 65 mmを使用する。

e . 開口部枠、間仕切造作組立 開口部枠

- ・ 縦枠：開きの場合は戸当り
接着剤併用釘止めとし
釘はユニクロ釘 32
- ・ 上枠： 上記による。ま
- ・ 下枠： 上記による。ま

ばた付きとする。
する。

しゃくりとする。

組立て

- ・ タテ枠上下は、えり輸入材
- ・ 無目(中鴨居)両端は、目
- ・ 中束上下は、短ほぞ差し、
- ・ 釘はユニクロ釘 65 mmを使

釘打ちとする。
打ちとする。

取り付

- ・ 枠の高さおよび巾は設計
より取り、建入れは下げ

塗墨および床およびスラブ面に出した墨
する。

敷居：柱または半柱ノ
敷居下端と下地
釘はユニクロ釘

隠し釘止めとする。
1mm以内にくさびを飼い釘打ちとする。

中鴨居：柱または半柱ノ
釘はユニクロ釘

隠し釘止めとする。

天鴨居：柱または半柱ノ
釘はユニクロ釘

併用釘止めとする。

f . 床下地組

土台はアンカーボルトにて
コンクリートに接する際根
床組み用パッキンの樹種は

い。

木種は、使用箇所に応じて定める。

g . 天井野縁組

野縁受材

- ・ 間隔は 900 mm以内とし、継手は、添え板を当て釘打ちとする。
- ・ 釘は鉄釘 50 mmまたは 85 mmを使用する。

野縁受け

- ・柱、間柱および木レンガの芯で突付け継ぎとする。

野縁

- ・間隔は 455 mm以内とし継手は、添え板当て釘打ちとする。取付けは野縁受け下面に添え付け釘打ちとする。釘は鉄釘 50 mmまたは 65 mmを使用する。

吊り木

- ・間隔は 900 mm内外とし、
- ・釘は鉄釘 50 mmまたは 65 mm

添え付け釘 2 本打ちとする。

h . 見切および巾木取付

- ・取付に際しては、水平・垂直
- ・継手は突付けとする。(別

し接着剤とビス併用で取付ける。

i . ボード張り・合板張り

木造下地の張り付けは、目
mm内外の間隔に釘打ち、接着
ただし、合板で厚さ 3 mm
釘：石膏ボードはステンレス
mmを使用する。

平陸、目違い等のないよう、受材に 150
mmに張り付ける。

壁石膏ボードの柱、タテ枠に
壁合板の柱、堅枠、鴨居に

付きとし、継手は面取り突付けとする。
し、継手も突付けとする。

j . 腰壁合板貼り

取付に際しては水平・垂直・
用で取付ける。(ナラ杵練付
接着剤と両面テープ併用で

浮きのないように接着剤と両面テープ併
- 4)
紙 - 4)

k . 付鴨居、押入造作その他

付鴨居・畳寄せ・ボード寄
・両端は木口を殺して柱間
ただし、畳寄せ、ボー
・釘はユニクロ釘 50 mmを使
戸当り

間隔につぶし釘打ちとする。
なくてもよい。

・間隔は 240 mmとし、接着
押入造作

- ・敷居、鴨居は前項による。
- ・中棚のかまちは棚板じゃくりをする。
- ・根太掛けは両端を柱へ欠き込み胴縁に添え付け釘打ちとする。
- ・根太は框、根太掛けに彫り込み、釘打ちとする。
- ・釘はユニクロ釘 65 mmを使用する。

- ・ 棚板合板は受材芯で突付け継ぎとし、根太へ釘打ちとする。
- ・ 釘はステンレス釘 25 mmを使用する。雑巾摺りも同様とする。

1 . 和室造作および床組

和室造作は、水平・垂直・出入り・仕口取合・勝手等に十分注意しぐらつきのないよう取付ける。(別紙 - 6)

床組は水平に十分注意し、

はむ。(別紙 - 7)

6) 養 生

- a . 工事中に汚染、損傷等のおそれがある場合は、養生の方法によって養生する。
- b . 化粧材については包装して結

えがかり部分は、砥の粉拭き、あて板等

7) 自主検査・手直し

- ・ 工事担当者が下記項目に従って

<http://gemba-know-how.com>

自主検査

1	サッシ額縁	アングルとの隙間 額縁のころびおよび目違い サッ	
2	カーテン BOX	仕口 取付 ねじ	
3	見切および巾木	取付 浮き 仕口	
4	和室造作	取付 枠の 仕口 勝手	
5	腰壁合板貼	取付 浮き 目地	
6			

http://gemba-know-how.com

手直しはチェック完了後
他業者にかからむ手直しは

!当者の確認を得る。
!員の指示を仰ぐ。